



「端午の節句」 健やかな子の成長を願って…

四季の移ろいは早く、里山は新緑が映え風薫る季節。さわやかな空気に包まれたふじやまの春が今年もやってきます。

子どもの頃に、親がそうしてくれたように、子どものため、孫のためと、成長を願う親の心はいつの時代も同じです。



子どもの日を『端午の節句』と言いますが、「端午」は、「月の端（はじめ）の午（うま）の日」のこと。「午」を“ご”と読むことから5月に、更に季節の花に因んで『菖蒲の節句』ともいうのだそうです。強い香気の菖蒲とヨモギを軒下に吊り下げる光景は今では見なくなりましたが、菖蒲湯にゆっくりと浸かり「災い」から身を守る風習は今でも健在のようです。



大空に風をはらませて泳ぐこいのぼりは、ふじやまの風物詩となっています。以前よりポールが多少低くなったものの、雄々しく泳ぐその姿は必見です。

五月人形飾り	4月18日(水)～5月14日(月)
こいのぼり	4月20日(金)～5月13日(日)
呈茶会	5月5日(日) 11時～14時 300円



儉約して古いものを大事に使った江戸時代でも、新しいのが好まれたのは何やらと畳。主屋の畳が新しくなった。名主の家で、役人の武家が出入りしたので、武家が使う方は縁（へり）付き、農家側はへりくだって縁なしの畳なのだが、昨今では端を切って縁を付けるイグサと、端を折り曲げる縁なし用の七島イグサの値段が逆転して縁なし畳の方がうんと高くなってしまったのだという。

ともあれ主屋の雰囲気ガラッと変わった。畳の良い匂いのするうちにぜひ感じてほしい。

◆1年半ぶりの能舞・能管コンサート、超満員に

昨秋、台風の影響で延期された第7回能舞・能管コンサートが3月18日古民家主屋で開かれました。熊谷真知子さんの能舞、根岸啓子さんの能笛などを、抽選で当選した超満員の80人以上が堪能しました。



古民家を舞台に行われる古典芸能の次回は、落語の「にぎわい座出前寄席」(7月15日)の予定です。詳細は5月号で発表します。

◆行く春を惜しみながら～お花見の会～



今年のお花見の会は4月1日。暦の上では春も佳境にという時期ですが、このところの暑さ?で、桜の花びらがハラハラと舞う中で開催されました。

園内は、今年初お目見えの風船パフォーマンスや手品などの出し物で1日中にぎやかな声で溢れかえっていました。お茶席では、着物姿のスタッフの髪に桜の花びらが留まり、来場者からは“風雅だねえ”というつぶやきが聞こえてきました。

古民家 Q&A ふすま・障子のはめ込み方

Q: 古民家のふすまや障子のはめ込み方には決まりがありますか?

A: 古民家に限らず日本家屋では、ふすまや障子などの引違い戸の建込み方(はめ込み方)にはシキタリ(長い間、社会で行われた慣行的事実)があります。引違い戸は日本独特のもので、開き戸に比べると雨仕舞や気密性が劣りますが、戸の開閉に場所をとらず、簡単に取はずしが出来ます。

二枚の引違い戸の場合は右手前になります。四枚引違い戸の場合は、中央の二枚を部屋の内側(手前)に配置します。二間続きの中仕切りふすまの場合は奥座敷(床の間などがある上位の部屋)内側から見て、中央二枚を内側にします。

これらの配置は古民家では上座敷～下座敷、中之間と仏間や茶の間と納戸との間に見ることが出来ます。



歴史探訪が横浜 18 区の新シリーズでスタート



ふじやま公園周辺の歴史スポットを訪ねて歩く「歴史探訪」は、3月に2年間の東海道宿場シリーズを終えて4月から横浜18区を順に各区のスポットを訪ねるシリーズが始まりました。第1回は南区内を4月4日、弘明寺駅を起点として井土ヶ谷事件の碑などを16人が歩きました。次回は5月2日、上永谷駅から港南区を歩きます。歴史探訪は登録会員だけのイベントです。



シュンラン ラン科

山野など雑木林や傾斜地に自生する野生のラン。日本、中国に分布する。別名ジジババ。葉の間から花径を伸ばし3cm前後の淡い黄緑色の花を付ける。葉の影にひっそりと咲く姿は可憐。江戸時代からある古典植物。日本では花色や葉の模様を楽しみ、中国では花の形や香りを愛でたとされる。自然保護の観点から山採りを行わないのが一般的。希少なランの一つ。花言葉は気品、清純、控えめな美人。



《花の公園にまた一つ～シャクナゲが水琴窟奥に～》



花のある風景を目指しているふじやま公園に3月下旬、シャクナゲが4株植えられました。水琴窟の奥辺りで、数年後には木が伸びて、古民家前庭からも垣根越しに花が楽しめるようになるでしょう。これから長屋門前のボタン、シャクヤクなどが見ごろを迎え、今後農園前の藤棚に植えられるフジも来年には楽しませてくれそうです。

『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

古民家が、きれいに保存されていてよかったです。
(市内10代、行事に家族で)



平成30年5月度ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	5日(土)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	21日(月)	古文書解読勉強会	6日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	2日(水)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	クリーンアップ	1日(火) 15日(火)
工作棟部会 部会	30日(水)	広報部会	
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	6日(日)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	印刷	12日(土)
		ホームページ制作打合せ	27日(日)

《 ふじやまだより編集部員急募 !! 》

広報紙編集部員を緊急募集しています。興味のある方は、公園事務所(TEL 045-896-0590)まで。編集会議や印刷の見学も大歓迎です。他の部会も募集中です。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
子ども工作 (小学生)	5月20日(日)10時～11時	～スカイシャトル～ (小学生)	無料	当日受付 10名
絵手紙 (全4回)	6月5日、12日、7月10日、 17日 何れも火曜日 13時～16時	はがき絵の基本を学び実際に 画いてみましょう	600円	5月22日(火) 10名
初心者茶道 体験教室	6月16日(土)13時～16時	四季を感じながらおもてなし の心を学びましょう	500円	5月31日(木) 5名
フラワー アレンジメント	6月19日(火)13時～15時	涼し気な初夏の花	2,000円	6月5日(火) 8名
七宝焼	6月20日(水)13時～15時	ビーズのペンダントの先の 七宝部分を作ります	700円	6月12日(火) 6名

(1)応募要領：往復はがきに、教室名(実施日も)氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、

電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2)応募者多数のときは抽選 (3)持参品：返信はがきで連絡します

・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話を楽しみましょう

日 時：5月17日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 体験教室作品展

体験教室講師の皆さんの作品を古民家主屋内に展示します。

日 時：5月21日(月)～27日(日) 9時～17時 (21日は13時から、27日は16時まで)

場 所：古民家主屋座敷、仏間

出展作品：押し花絵、創作人形、粘土工芸、絵手紙、パステルシャインアート、押し絵、
デコパージュ、七宝焼、子ども工作

★ 初心者茶道教室の講師募集

古民家主屋で毎月第三土曜日に実施している「初心者茶道体験教室」の講師を募集します。

期間は本年末から約2年間です。基本的なお道具は古民家にありますが、一部講師が持込むものもあります。授業料は無料ですが実費は徴収します。

説明会：7月12日(木)10時から 場 所：古民家主屋

流派は問いません、教授免状のある方。

ご希望の方は7月5日(木)までに、往復ハガキで公園事務所までお申込みください。

3月ふじやま公園来園者数 2,364名 29年度合計 23,135名

・開 館 時 間：	9時～17時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	毎月第1水曜日(5月は休みません)
・クリーンアップ：	毎月第1・3火曜日10時～11時(5月1日・15日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593